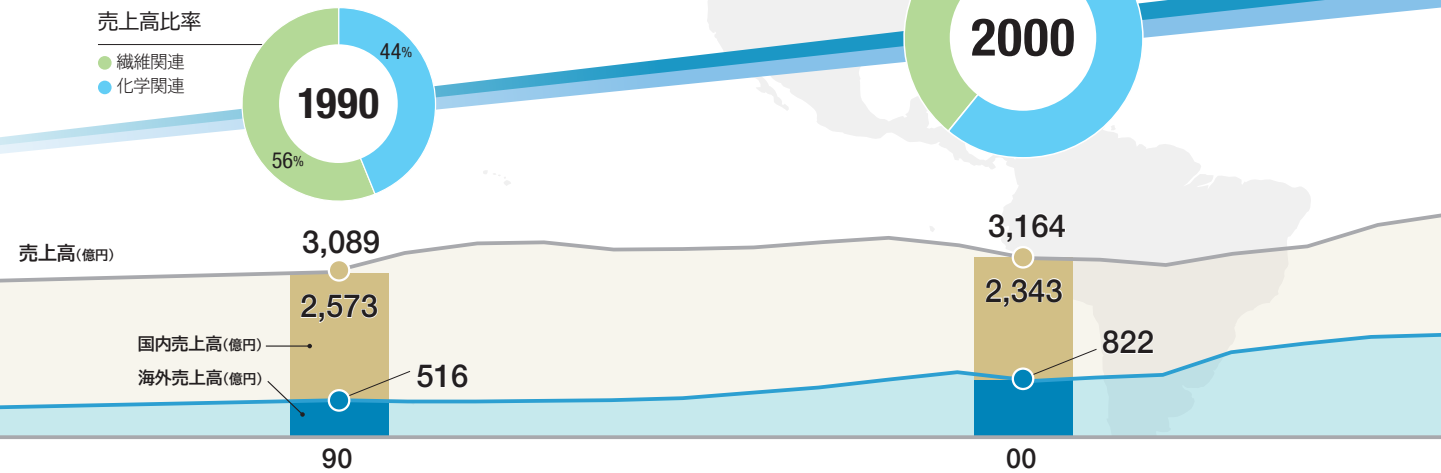


クラレグループの軌跡

— 事業構造の転換を経てスペシャリティ化学企業へ —

クラレは当時の先端技術であった人造絹糸レーヨンの企業化を目的に1926年に設立され、繊維を中心に事業を展開してきました。その後、繊維産業が日本から海外にシフトするなど事業環境の変化に伴い、繊維で培った高分子化学・合成化学の独自技術をベースに、世界で競争力を持つビニルアセテート関連事業など化学分野で拡大を続け、事業ポートフォリオの強化を進めてきました。

売上高比率の推移



1926年

レーヨンの事業化を目指して設立

~1980年

ビニロンと新事業の創出

1950年に国産初の合成繊維ビニロンを世界で初めて事業化したのを皮切りに、ポパール樹脂、人工皮革〈クラリーノ〉、ポリエステル、機能樹脂〈エパール〉やイソプレンなど新規事業を相次いで立ち上げました。

~1990年

合成繊維の高機能化

事業の多角化を推進し、合成繊維では衣料用だけでなく、ビニロンや〈ベクトラン〉などの機能性を生かし産業資材を中心に事業領域を拡大しました。

主要事業の主な変遷

化学品・樹脂・その他

1958 ポパール事業化
1961 ポパールフィルム事業化

1960 メタクリル樹脂事業化

1965 活性炭事業化

1972 〈エパール〉事業化

1986 〈エパール〉エパールカンパニー・オブ・アメリカ生産開始

1972 イソプレンケミカル事業化

1990 熱可塑性エラストマー〈セプトン〉事業化

1978 歯科材料事業化

繊維

1928 レーヨン事業化

1950 ビニロン事業化

1960 日本バルクロ株式会社〈マジックテープ〉事業化

1964 クラレが日本バルクロ株式会社に資本参加

1964 〈クラリーノ〉事業化

1969 ポリエステルフィラメント〈クラベラ〉事業化

1983 セメント補強用ビニロン短繊維事業化

1989 成型面ファスナー〈マジロック〉生産開始

1972 乾式不織布〈クラフレックス〉生産開始

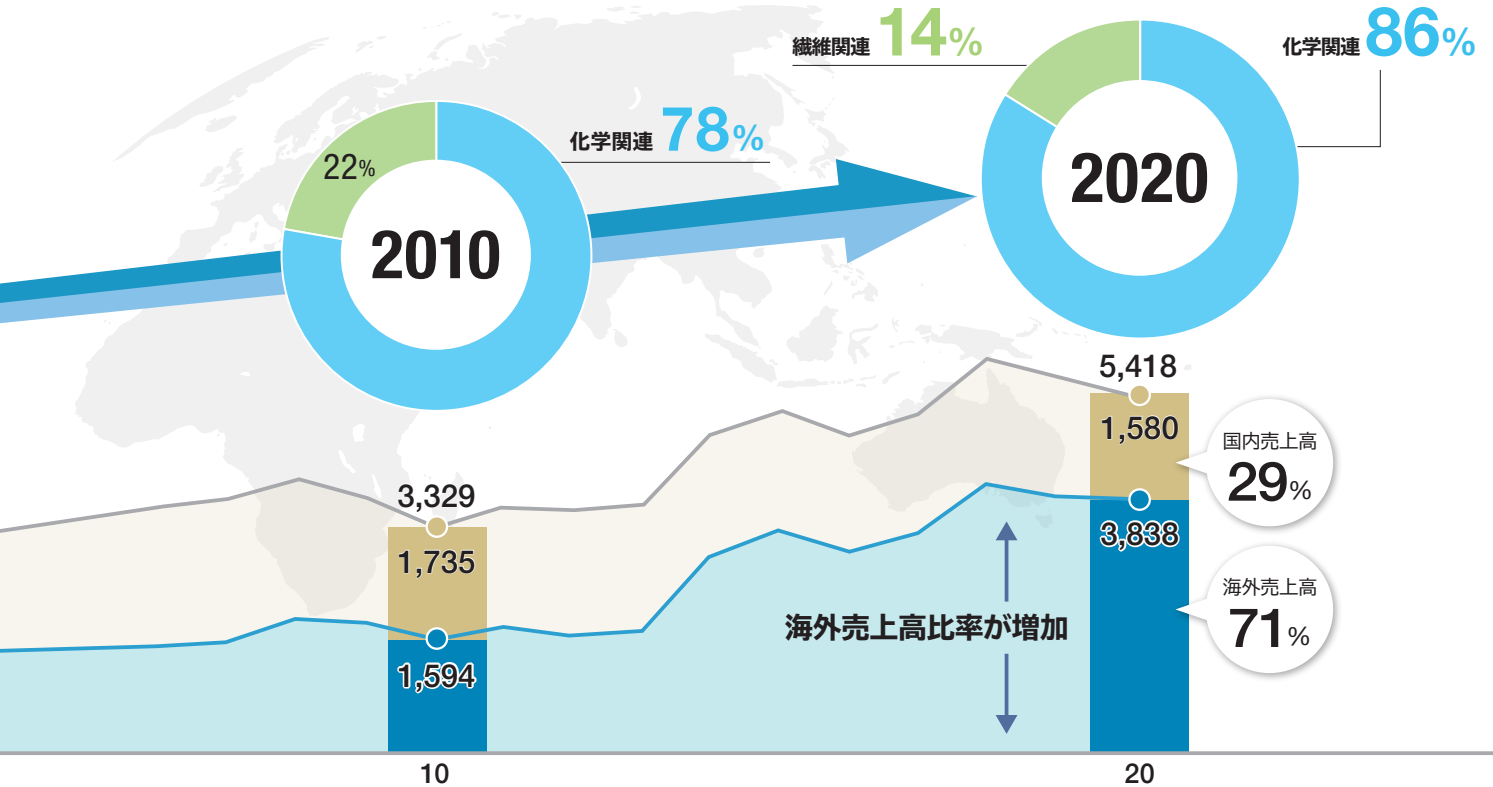
1989 メルトブローン不織布生産開始

1990 高強カポリアリレート繊維〈ベクトラン〉事業化



ポートフォリオの変化

「繊維」から「化学」へ



～2000年

化学品・樹脂事業の海外展開

化学品・樹脂事業では高い市場シェアを背景に海外で販売を増やし、現地での生産体制を構築しました。

～2010年

M&Aを通じたビニルアセテート関連事業の拡大

2001年以降、ビニルアセテート関連事業において海外M&Aを通じてダウンストリーム展開および事業規模の拡大を推進し、事業ポートフォリオを強化しました。

2011年～

新たな事業ポートフォリオへの挑戦

1999 PVA樹脂シンガポール生産開始

2001 クラリアント社PVA、PVB樹脂事業買収
2004 HTトロボラスト社 (PVBフィルム) 買収

2012 モノソル社 (水溶性ポリアルフィルム) 買収
2014 デュボン社VAM、PVA、PVB樹脂・フィルム事業買収
2016 PVA樹脂米国新プラント生産開始

2005 メタクリル樹脂シート可楽麗亜克力(張家港)有限公司生産開始

2005 可楽麗化学(寧夏)環境化工有限公司(活性炭)生産開始

2017 クラレケミカル株式会社(活性炭)を吸収合併
2018 カルゴン・カーボン社(活性炭)買収
2019 可楽麗化学(寧夏)環境化工有限公司(活性炭)操業停止

1999 〈エパール〉エパールヨーロッパ生産開始

2002 〈セプトン〉セプトンカンパニー・オブ・アメリカ生産開始

2015 プランティック社(バイオマス由来のガスバリア材)買収

1999 耐熱性ポリアミド樹脂〈ジェネスタ〉事業化

2002 〈セプトン〉セプトンカンパニー・オブ・アメリカ生産開始

2018 エラストマー、〈ジェネスタ〉、イソプレクミカルタイ工場投資決定

1996 液晶ポリマーフィルム〈ベクスター〉生産開始

2012 クラレノリタケデンタル株式会社を設立

1998 新規PVA系繊維〈クラロンK-II〉事業化

2001 レーヨン事業撤退

2018 ビニロンVIP (新プロセス) 生産開始

2004 ファスニング事業をマジックテープ株式会社(現 クラレファスニング株式会社)に移管

2005 〈クラリーノ〉禾欣可楽麗超繊維(嘉興)有限公司生産開始

2002 〈クラベラ〉衣料用テキスタイル事業をクラレトレーディング株式会社へ移管

2005 不織布事業をクラフレックス株式会社(現クラレクラフレックス株式会社)に移管

2020 メルトブローン不織布生産設備増設